

各 位

株式会社 池田泉州銀行

関西国際空港内における太陽光発電事業向けプロジェクト・ファイナンスに関する
シンジケート・ローン組成及び貸出実行について

株式会社池田泉州銀行（頭取：藤田博久、以下：池田泉州銀行）は、SF 関西メガソーラー株式会社（以下：SF 関西）が、関西国際空港内（大阪府泉南市他）で行う太陽光発電事業（以下：本事業）に対し、株式会社京都銀行（以下：京都銀行）との共同アレンジャーとしてシンジケート・ローンを組成し、地元金融機関として最大の貸出シェアを引受けし、実行いたしましたのでお知らせいたします。

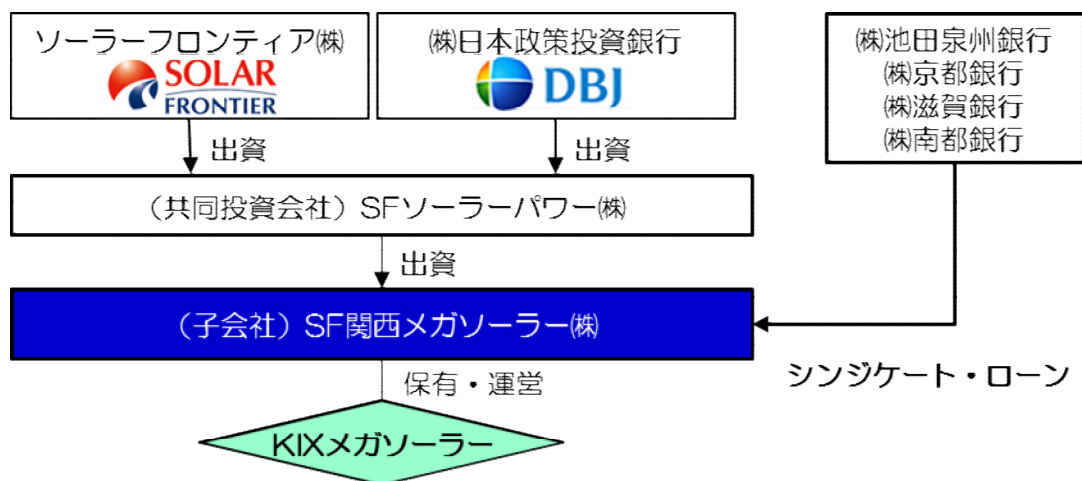
本事業は、ソーラーフロンティア株式会社と株式会社日本政策投資銀行が、太陽光発電所プロジェクトの開発・運営のために創設した共同投資会社SFソーラーパワー株式会社による第 1 号案件として、100%子会社のSF 関西を通じて計約 11,600 キロワットの発電出力を持つ大規模太陽光発電施設（以下、KIX メガソーラー）を開発・運営するものであり、アジアの空港における太陽光発電事業としては最大級の規模でございます。

本件は、SFソーラーパワー株式会社が KIX メガソーラーの開発リスクを負担の上、建設、稼働後に、地域の再生可能エネルギーの推進に賛同する地域金融機関が参加・支援する、新たな金融機会の創出に結び付けた第 1 号案件となります。

池田泉州銀行では、今後もこうした再生可能エネルギーの推進への取組みを通じて、さらなる“地域貢献”“社会貢献”に努めてまいります。

■シンジケート・ローンの概要

アレンジャー	池田泉州銀行、京都銀行
貸出人	池田泉州銀行、京都銀行、滋賀銀行、南都銀行
金額	27 億円



以 上

(参考)

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社（5002, T）の100%子会社であり、CIS薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場（生産能力900メガワット）は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量（kW）あたりの実発電量（kWh）が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPVm 認証（JIS Q 8901）」などの第三者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2 回ものづくり日本大賞」で優秀賞（製品・技術開発部門）、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2007 年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。

【株式会社日本政策投資銀行について】

株式会社日本政策投資銀行は日本開発銀行と北海道東北開発公庫の統合により設立された日本政策投資銀行を前身とし、平成 20 年 10 月に株式会社として設立された政府 100%出資の金融機関です。